

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 8 日

事務事業名		地域福祉計画策定事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 020301000928	
		政策体系				単独/補助		040101	
総合計画の施策名		O203 地域福祉の推進				主要事業		対象外	
政策名		O2 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				市長マニフェスト		対象外	
施策名		O3 地域福祉の推進				未来PJ事業		対象外	
基本事業名		O1 社会福祉活動の推進				合併建設計画事業		対象外	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計		款		項		目	
		01 00		00 00		00 00		00 00	
法令根拠		社会福祉法				一般会計			
		[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)				単年度のみ (年度)			
						→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当が行う業務の内容・やり方・手順	
【業務の内容】 ・地域福祉計画の策定は、社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づき、各地方自治体が主体的に取り組むこととなっている。 ・地域福祉計画期間は、桜川市の基本計画である桜川市第1次総合計画との連携を図るため、平成23年度～平成28年度までの6年としている。 ・平成33年度までの5年間を計画とするために平成28年度に作成する。 ・保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とする計画策定委員会を設置し、計画策定に関する事項を審議する。		【担当が行った業務の内容】 ・計画策定委員会に関すること ①計画策定委員会の選任・委嘱 ②会議の開催(3回) ③委員への報酬支払 ④委託業者への委託料支払 ・計画策定に関すること ①委託業者との打ち合わせ ②アンケート調査の実施 ③これまでの計画の振り返り(現状と課題)・関係課へ調査依頼、とりまとめ ④計画(案)の作成・印刷製本	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
・地域福祉計画の策定は、社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づき、主体的に取り組む。							計画策定委員会開催回数		回	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
福祉活動に取り組んでいる人							地域活動に取り組んでいる人		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	
										0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
地域で福祉活動を行う団体が増え、活動が活発に行われる。							計画策定委員会開催回数		回	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
							計画策定委員会出席者数(延べ人数)		人	0.00	0.00	42.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	4,100	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	4,100	0	0		
人件費	正規職員従事人数		人	0.00人	0.00人	2.00人	0.00人	0.00人	
	述べ業務時間		時間	0.00	0.00	60.00	0.00	0.00	
	人件費計(B)		千円	0	0	174	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	4,274	0	0	

27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
合計			合計		
0			4,100		

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	地域福祉計画策定事業	事務事業No.	20301000928	所属課	社会福祉課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 桜川市の基本計画である桜川市第1次総合計画との連携を図るため、平成23年度～平成28年度までの6年としている。  
 ・平成33年度までの5年間を計画とするために平成28年度に策定する。  
 ・保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とする計画策定委員会を設置し、計画策定に関する事項を審議する。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 未定

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づく計画の策定であり、市の政策体系に結び付いている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づく計画の策定であり、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づく計画であり、これまでの計画の振り返りやアンケート調査の基に、保健・医療及び福祉関係者、市民団体等の関係者、学識経験を有する者等を委員とし、専門的見地から審議をいただく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づく計画の策定であり、廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づく計画の策定であり、他に手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業を委託し、効率的に事務事業を遂行し、委託業者との連携した取り組みの中で素案の作成、会議の開催等に時間を要し、事業費・人件費を削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	社会福祉法第107条(市町村地域福祉計画)の規定に基づく計画の策定であり、一部の受益者に偏っているとはいえない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成28年度実施後、反省点等を入力																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ( ) 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 ( ) 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 ( ) 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
	(6) 事務事業優先度評価結果																						
	成果優先度評価結果																						
	コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>